

PRIDE 誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校

感動のスポーツフェスティバル

快晴の下、最高のコンディションでスポーツフェスティバルが行われました。開会式から熱気がむんむん。やる気、本気がみなぎっているのが伝わってきました。その真剣な表情と素晴らしい態度に感動し、うっすらと目に涙がにじんでしまいました（年を取ると涙もろくなるのです）。さて、競技が始まりましたが、競技に対しても誰一人手を抜かず、全力で取り組む姿にまた、目頭が熱くなりました。最終的には、1分団が「チームワーク賞」と「よさこいソーラン賞」の2冠、2分団が「総合優勝」の1冠、3分団は無冠という結果になりました。3分団は無冠でしたが、「KING 'S FLAG」で、トップでゴールした後、ルール違反で3位になってしまったのにもかかわらず、腐ることなく、その結果を真摯に受け止める態度には感動させられました。3分団に「あっぱれ!」を送りたいと思います。



さて、感動のスポーツフェスティバルを中心となって盛り上げてくれた生徒会長、1分団長、2分団長、3分団長に、中学校最後のスポーツフェスティバルを終えた感想を聞きました。

【生徒会長 堀田 陽向さん】

一人一人が困難を乗り越え、全部の分団がまとまり高め合えた最高のスポーツフェスティバルとなった。閉会式の成績発表をした後、「これで最後のスポーツフェスティバルが終わるのか」と思ったら、自然と涙があふれてきた。



【1分団長 横田 棕さん】

最初はうまくいかないことが多かったが、少しずつ分団がまとまっていき、最後は2冠がとれてうれしかった（3冠をとれなかった悔しさもあるが...）。

【2分団長 浅野 思音さん】

最後まで心から楽しんででき、とても良いスポーツフェスティバルであった。1冠だったのは悔しいけれど、自分たちはやることはやったので後悔はない。

【3分団長 三代田則洋さん】

無冠で悔しかったが、みんなで楽しめたので良かった。最初は、3年生がまとまらず大変だった（最後はまとまった）けど、そんな僕たちに1・2年生がついてきてくれてうれしかった。

インタビューした全員が、このスポーツフェスティバルを満喫し、充実感をもって終われているという印象を受けました。全力で物事に取り組めることができれば、結果はどうあれ、充実感もてるということを証明してくれました。そして、この充実感こそが素晴らしい結果そのものであり、今後の皆さんの成長の糧になることでしょ。そしてこのスポーツフェスティバルを通してあらためて感じさせられたのが、「全力で取り組む姿は美しい!」「真剣に取り組む姿は感動を呼ぶ!」ということです。

そんな感動を与えてくれた北中生の皆さんに心から感謝申し上げます。北中、最高です!

